

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年3月12日（火）

2 確認箇所

海底再被覆工事現場（1－4号機取水路開渠、メガフロート）

本設東波除堤魚類移動防止網

1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網

3 確認項目

港湾魚類対策の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、港湾内でセシウム濃度の高い魚類が確認されていることから港湾の環境改善として、1－4号機取水路開渠の海底再被覆工事などを進めるとともに、セシウム濃度の高い魚類の港湾外への移動防止を強化するため、東波除堤の魚類移動防止網本設化工事（令和6年3月4日工事完了）や1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網の網目微細化（令和5年9月1日完了）などを実施してきている。

今回は、2層目の被覆施工が開始された海底再被覆工事の状況及び本設化工事が完了した東波除堤魚類移動防止網等の状況を確認した。

（図1）（前回確認：[令和5年12月4日](#)）

ア 1－4号機取水路開渠の海底再被覆工事の状況

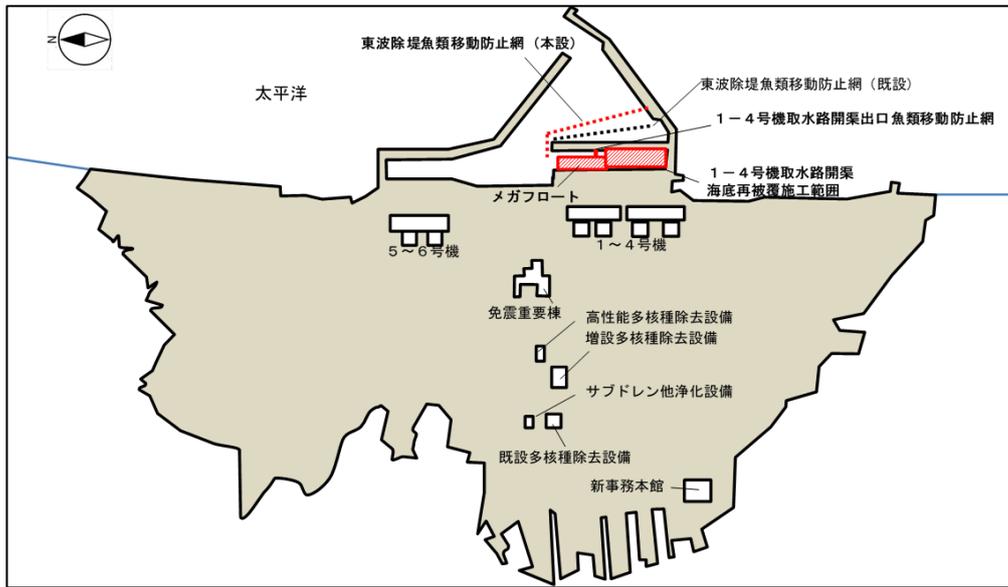
- ・1－4号機取水路開渠の北西側（メガフロート上）に、被覆材（ベントナイトスラリー＋セメント）を調製して圧送するためのプラントが新たに設置されていた。（写真1）
- ・また、ユニフロート台船には、重機が積載されるなど2層目の被覆施工用の資機材が装備されていた。（写真2）
- ・現地確認時には、被覆材の調製やユニフロート台船での被覆作業は行われておらず、プラントの整備作業等が行われていた。（写真3）
- ・東京電力によると、1層目の被覆施工は令和5年10月16日に開始して令和6年1月25日に完了し、2層目の被覆施工は2月19日から開始したとのことであり、令和6年上期中の工事完了を目指しているとのことであった。

イ 東波除堤魚類移動防止網及び1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網の状況

- ・鋼管杭と高耐久網（ポリエステルモノフィラメント製）で構成されている本設の東波除堤魚類移動防止網が、1－4号機取水路開渠出口か

ら東波除堤前面の全ての範囲で設置が完了していた。既設の魚類移動防止網は、まだ撤去されずに残置されていた。(写真4)

- 1-4号機取水路開渠出口に設置されている網目が微細化された魚類移動防止網に、破損等の異常は認められなかった。(写真5)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
被覆材調製プラントの概観
(南西側から撮影)



(写真2)
ユニフロート台船の概観
(北西側から撮影)



(写真3)
被覆材調製プラントでの作業状況
(南東側から撮影)



(写真4-1)
本設東波除堤魚類移動防止網の設置
状況①(東波除堤北側から南東方向
を撮影)



(写真4-2)
本設東波除堤魚類移動防止網の設置
状況②(同左)



(写真5)
1-4号機取水路開渠出口魚類移動
防止網の状況(東波除堤北側から南
西方向を撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。